

我が校の強み弱み分析・評価シート

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査結果

- ・教科に関する調査からは、国語科、算数科ともに全国の水準を下回りました。
- ・児童質問紙からは、規則正しい生活習慣が身についている児童が多く見られました。

国語科の強み(○)と弱み(▲)

○毎年全国平均を上回っている「読むこと」の領域は、全国平均に近い正答率でした。

▲漢字を正しく使えるかを見る問題の回答率は、全国平均を下回りました。

出題された漢字…競技（正答率 38.2% $\ominus$ 5.2%）、投げる（66.4% $\ominus$ 9.6%）

▲「書くこと」の領域は、図表やグラフを用いて自分の考えを書くことが全国平均を 20.4 ポイント下回りました。また、無回答率も全国平均より 1.0 ポイント高く課題が見られました。

算数科の強み(○)と弱み(▲)

○数量の関係を□を用いて表す問題は全国平均を上回りました。

○「データの活用」の領域は、表を読み取り分類整理する問題では全国平均を上回りました。

▲記述式の問題は、4題とも全国平均を下回りました。中には 12.1 ポイント下回るものもあり、考察して分かったことを表現する力に課題が見られました。

▲いずれの問題に対しても無回答率が高く、主体性を育むことが課題です。

児童質問紙より

○規則正しい生活を送っている児童が多いのが特長です。

○人が困っている時に助けようとする児童が多いのが特長です。

○インターネットを学習に役立てて使うことができる児童が多いのが特長です。

▲自分と違う意見について考えることを楽しいと感じられていないところが課題です。

▲地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えている児童が全国平均を下回りました。

今後の指導の充実に向けて

- ・主体性を高めるために自分の意思で決定する機会を日常的に取り入れていきます。家庭学習では自主学習を積極的に取り入れます。
- ・授業中に自分の意見や考えを持つ習慣を育てていきます。また他者の意見に触れる機会を多く作り、自分と違う意見から学ぶ経験を積ませていきます。
- ・学習規律を整え、授業中の学習従事時間を増やしていくよう努めます。